



# いずみのひろば

2022年8月号

日本基督教団 御教会  
No.523 秋松教区



## 神様のご計画のなかで

創世記37章23～36節

ヨセフさんは、父であるヤコブさんに言われて、羊飼いをしている兄さんたちと羊たちの様子を見届けに、家を離れて野原にやってきました。ヨセフさんのことを妬んで憎んでいた兄さんたちは、ヨセフさんが到着したとたん、チャンスとばかりに捕まえて、着物をはいで穴に放り込んでしまったのです。ところが、兄さんたちがヨセフさんをどうしようか相談しているうちに、ヨセフさんは誰かに穴から引きあげられ、どこかにいなくなっていました。実は、ちよつと通りがかったメディアアン人がヨセフさんを引き上げてエジプトへ行く途中の商人に売り渡してしまっていたのです。

ヨセフさんを失い、慌てた兄さんたちは、ヨセフさんのきれいな着物をヤギの血に浸し、家で待つ父、ヤコブさんに見せました。ヤコブさんはこれを見て、ヨセフさんは野獣に食べられて死んでしまったと思い、深く悲しみ、ヨセフさんのために泣きました。

一方、ヨセフさんは、エジプトに売られて王に仕える地位の高い役人の家で働くことになったのですが、神様に守られて、とうとう総理大臣にまでなりました。ヨセフさんがエジプトに行くことになったのは、人の目から見ると兄さんたちがヨセフさんを妬む悪い考えから起こった出来事です。しかし、神様はその人間の考えをはるかに超えて、そんな出来事も用いられて、エジプトでのヨセフさんの人生、イスラエルに残るヤコブさんと兄さんたちの人生も導かれました。

ヨセフさんと共にいてくださった神様は、私たち一人一人のことも知っています。たしかに、毎日の生活の中で、こうしたい、ああなりたいたいと思っても、なかなか思い通りにいかないことがいっぱいあります。でも、神様はそんなこともあとで恵みに変えることができる方なのです。うまくいかないと思っているときに、神様はどのように自分を置いてくださるのかとお祈りしていると、実は神様からいっぱい恵みの賜物をいただいていることにも気が付きます。神様は、みんなの賜物を思いもよらない形できつと活かして下さいます。いつも共にいてくださる神様を信頼して、毎日歩んでまいりましょう。